

## 特別活動(小学校)

### 特別活動の教育的意義はどうなっているのか。

#### 1 特別活動の特質から考えると・・・

##### ○ 集団活動を特質とすること

- 活動目標があり、目標を達成するための方法や手段を全員で考え、共通の目標を目指して協力していく集団で行われる。
- 学級集団を単位として行われるもの、学年や学級の枠をはずして組織された異年齢集団で行われるものがある。

種々の集団に所属して活動することにより、人間関係が拡充され、生活経験が豊かになるとともに、思いやりの心、共に生きていく態度、自己責任の自覚、自律・自制の心など豊かな人間性や社会性を身につけることができるのであり、特別活動には、他の教育活動とは異なる役割がある。

##### ○ 集団による実践的な活動を特質とすること

- 児童が学級や学校生活の充実・向上を目指して、自分たちの力で諸問題の解決に向けて具体的な活動を実践するものである。
- 児童の実践を前提とし、実践を助長する指導が求められ、児童の発意・発想を重視し、啓発しながら「なすことによって学ぶ」を方法原理とする必要がある。

#### 2 特別活動の教育的意義としては・・・

ア 集団の一員として、なすことによって学ぶ活動を通して、自主的、実践的な態度を身につける活動である。

イ 教師と児童及び児童相互の人間的な触れ合いを基盤とする活動である。

ウ 児童の個性や能力の伸長、協力の精神などの育成を図る活動である。

エ 各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の時間などの学習に対して、興味・関心を高める活動である。また、逆に、各教科等で培われた能力などが総合・発展される活動である。

オ 道徳的实践を効果的に展開できる重要な場や機会であることを積極的に生かして、知、徳、体の調和のとれた豊かな人間性や社会性の育成を図る活動である。

特別活動には、学校と家庭・地域社会との間に立って、両者を結ぶ重要な役割を果たすことが期待される。